記入例

日本人同士の婚姻（報告的）

# 婚　姻　届

令和 7 年 5 月 10 日届出

大使 殿

在フランクフルト日本国 (総領事)

| 受理 | 令和　年　月　日 |
|---|---|
| | 第　号 |
| 送付 | 令和　年　月　日 |
| | 第　号 |
| 書類 | |

公館印

・氏名は戸籍の記載どおりに記入してください
・生年月日は元号（昭和・平成・令和）で記入してください

| | | 夫になる人 | 妻になる人 |
|---|---|---|---|
| | （フリガナ） | トドケデ　タロウ | ガイム　ヨシコ |
| (1) | 氏名 | 氏 届出　名 太郎 | 氏 外務　名 良子 |
| | 生年月日 | 平成 5 年 1 月 2 日 | 平成 6 年 3 月 4 日 |
| (2) | 住所 | ドイツ連邦共和国ヘッセン州<br>フランクフルトアムマイン市XX通り5番<br>世帯主の氏名 届出　太郎 | 同左<br><br>世帯主の氏名 同左 |
| (3) | 本籍（外国人のときは国籍だけを書いてください） | 東京都中央区〇〇町一丁目5<br>番地 (番)<br>筆頭者の氏名 届出　一郎 | 東京都千代田区XX町三丁目2<br>番地 (番) 1<br>筆頭者の氏名 外務　太郎 |
| | 父母及び養父母の氏名 父母との続き柄（右記の養父母以外にも養父母がいる場合にはその他の欄に書いてください） | 父 届出　一郎　続き柄<br>母 友子　二男<br>養父　続き柄<br>養母　養子 | 父 外務　太郎　続き柄<br>母 花子　長女<br>養父　続き柄<br>養母　養女 |
| (4) | 婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍 | ☑夫の氏 □妻の氏<br>新本籍（左の☑の氏の人がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください）<br>東京都千代田区XX町三丁目2 番地 (番) 1 | |
| (5) | 同居を始めたとき | 令和 5 年 10 月（結婚式をあげたとき、または、同居を始め） | |
| (6) | 初婚・再婚の別 | ☑初婚 再婚（□死別 □離別 年 月 日） | ☑初婚 再婚（□死別 □離別 年 月 日） |
| (7) | 同居を始める前の夫婦のそれぞれの世帯のおもな仕事と | 夫 妻 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯<br>☑夫 妻 2. 自由業・商工<br>夫 ☑妻 3. 企業・個人商<br>の世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5）<br>夫 妻 4. 3にあてはまらない常用勤務者世帯及び会社団体の役員の世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5）<br>夫 妻 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯<br>夫 妻 6. 仕事をしている者のいない世帯 | |
| (8) | 夫婦の職業 | （国勢調査の年…　年…の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください）<br>夫の職業 | 妻の職業 |

「夫の氏」又は「妻の氏」のどちらかを選択してください

| その他 | 令和 7 年 4 月 10 日 ドイツ連邦共和国 の方式により婚姻成立、フランクフルトアムマイン市戸籍局 作成の婚姻証書添付。 |
|---|---|

日中連絡可能な携帯電話番号等と、メールアドレスを記入してください

窓口にてご提出の場合は空欄のままお持ちください
※お二人それぞれのご署名（楷書）が必要となります

| 届出人署名（※押印は任意） | 夫 届出　太郎　印 | 妻 外務　良子　印 |
|---|---|---|
| 事件簿番号 | | |

（届出人の連絡先及び電話番号 0160-01234556 konsular@fu.mofa.go.jp（外務良子）zentrale@fu.mofa.go.jp（届出太郎） ）